

講義科目名称： 教育学

授業コード： 2210100500

英文科目名称： Pedagogy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎大前敦巳			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【担当教員】 【氏名】 ◎大前 敦巳 【研究室】 上越教育大学 【本学の科目区分】 教養科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】【DP2】【DP3】【DP4】【DP5】【DP6】【DP7】 ◎
------	--

到達目標	教育の基本原理と歴史についての知識を獲得し、理解を深め、人権思想と共和国理念に根ざしたフランスの教育との比較を行いながら、現代の生涯学習社会や汎用的な資質・能力（コンピテンシー）育成などにいたる教育の国際的発展をたどり、これからの社会の中でどのように子どもを育てることが重要かを議論する。
------	--

授業概要	この授業では、教育と福祉・保健との対比から〈教える一学ぶ〉といった行為や活動の諸原理、その思想や歴史にまで迫りながら、今日のグローバルな国際的環境の中で私たちの「教育」をめぐる課題や問題について考える。国連・ユネスコやOECDなどの国際機関が提唱する新しい教育理念が、日本のみならず世界各国の教育に及ぼしている影響を理解する。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：イントロダクション 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 備考： 2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：教育の理念：福祉・保健との対比 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 備考： 3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：〈近代教育〉の誕生 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 備考： 4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：西洋の教育思想の歴史 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 備考： 5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：日本の教育思想の歴史 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 備考： 6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：フランスにおける教育の理念 学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。 備考：
------	---

	7	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：学校体系と人間形成の比較</p> <p>学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。</p> <p>備考：</p>
	8	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：教育を受ける権利と義務</p> <p>学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。</p> <p>備考：</p>
	9	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：学力格差是正に向けた取り組み</p> <p>学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。</p> <p>備考：</p>
	10	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：移民と文化の多様性</p> <p>学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。</p> <p>備考：</p>
	11	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：ユネスコにおける生涯学習理念</p> <p>学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、キー・コンピテンシーの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。</p> <p>備考：</p>
	12	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：国連におけるESD、SDGsの展開</p> <p>学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、キー・コンピテンシーの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。</p> <p>備考：</p>
	13	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：OECDのキー・コンピテンシー</p> <p>学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、キー・コンピテンシーの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。</p> <p>備考：</p>
	14	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：グローバル化の中の教育課題</p> <p>学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、キー・コンピテンシーの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。</p> <p>備考：</p>
	15	<p>授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：これからの教育に向けて</p> <p>学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、キー・コンピテンシーの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。</p> <p>備考：</p>
事前・事後学習		<p>・事前学習：【参考図書・資料等】に示した参考図書を事前に図書館で手に取って見ていただき、本講義の内容をあらかじめ理解しておいてほしい。</p> <p>・事後学習：期末レポートを作成するにあたり、講義資料、参考文献・図書、および以下の国連・ユネスコ、OECD等のホームページを参照して、必要な知識や情報を収集してほしい。</p> <p>国際連合広報センターSDGs2030アジェンダ： https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/ 公益財団法人日本ユネスコ協会連盟：https://www.unesco.or.jp OECD Education and Skills Today（英語）：https://oecdeditutoday.com</p>
評価方法、評価基準		<p>毎回のワークシート提出40%：各回の出席と学習課題についての理解度を評価する。計15回実施。</p> <p>期末レポート60%：期末総合評価として、本講義全体の到達目標の達成度を最終的に評価する。</p>
必携図書		教科書は特に指定しない。
参考図書・資料等		<p>レジュメを配付して授業を進める。参考文献・資料については授業のなかで適宜紹介するが、以下の参考図書を挙げておくので、事前・事後学習として読んでいただきたい。</p> <p>アンドレアス・シュライヒャー著、経済協力開発機構(OECD)編、鈴木寛・秋田喜代美監訳、『教育のワールドクラスー21世紀の学校システムをつくる』、明石書店、2019年</p> <p>木村元編、『系統看護学講座基礎分野 教育学』（第8版）、医学書院、2021年</p> <p>今井康雄編、『教育思想史』、有斐閣アルマ、2009年</p> <p>二宮皓編、『世界の学校ーグローバル化する教育と学校生活のリアル』、学事出版、2023年</p>
受講、課題、資料配布等のルール		<p>受講のルール等についての詳細は、初回の講義にてアナウンスする。毎回、講義内容について考えたことをワークシートに記述し、それをもとに発表とディスカッションを行う。</p>

教員からのメッセージ	「教育学」という学問は、現代社会においてはwell-beingの確立など、看護・保健・福祉の分野とも深く結びついています。今日のグローバルな発展にいたる教育の成り立ちを理解し、皆さんの将来の人生に活かしてください。
オフィスアワー	—